

令和8年度 津市立白山中学校 第1学年 技術科 シラバス

教科の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 生活や社会で利用されている材料、加工、生物育成、エネルギー変換 及び情報の技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深める。

(2) 生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決する力を養う。

(3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

第1学年 技術

1 目標

家庭菜園で用いられる伝統的な技術や、産業で用いられている生物育成の技術の仕組み、開発の経緯や意図を調べる活動などを通して、作物、動物および水産生物の成長、生態についての科学的な原理・法則と、生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを理解するとともに、生物育成の技術の見方・考え方を働かせ、進んで生物育成の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとする態度を養う。

生活や社会で利用されている材料と加工の技術についての基礎的な理解を図り、それらに係る技能を身に付け、材料と加工の技術と生活や社会、環境との関わりについて理解を深めるとともに、生活や社会の中から材料と加工の技術に関わる課題を見いだして課題を設定し解決する力、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に材料と加工の技術を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 評価基準と評価の方法

知識・技能	定期テスト、学習プリント等における記述、製作活動で適切な作業を行っているか等の観察。
思考力・判断力・表現力	定期テスト、学習プリント等における論述や、製作活動における問題解決能力。
主体的に学習に取り組む態度	学習プリント等における論述授業のふりかえりにおける記述や、授業中における発言や行動の観察。

3 使用教材

- ・教科書 東京書籍「新しい技術・家庭（技術分野）未来を創る Technology」
- ・木材加工教材
- ・生物育成教材

4 学習方法についてのアドバイス

○学校

- ・授業において、問われた内容や自分の考えを具体的に説明できるようにする。
- ・安全・適切な作業ができるようグループで協力する。

○家庭

- ・授業で学習したことが生活や社会でどのように活用されているか意識する。
- ・学習した内容を自らの言葉で説明できるようにする。

5 年間学習指導計画

月	単元となる学習内容	観点別評価基準		
		知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
4 5 6	<ul style="list-style-type: none"> ・技術分野のガイダンス ・身の回りの材料と加工の技術 ・様々な材料の特性 ・材料に適した加工の方法 ・丈夫な製品を作るための方法・生活や社会を支える 	<ul style="list-style-type: none"> ・木材や金属、プラスチックなどの材料の特性・利用方法を説明できる。 ・安全・適切な製作工程、組立て、仕上げを説明できる。 ・製品の部品と構造を丈夫にするために強度・耐久性を高める方法を説 	<ul style="list-style-type: none"> ・身の回りの製品に使われている材料の特性と材料に適した加工方法を考え、材料と加工の技術の見方・考え方に気付くことができる。 ・材料と加工の技術の見方・考え方にに基づき、使用目的・条件に応じてリスクを抑えた製品とするための適切な材料を選択できる。 ・目的や条件に適した加工の方法の選択の視点に気付くことができる。 <p>◇ワークシート、定期テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・3年間の技術分野の学習の目標を立て、3年後の目指す姿を想像しようとしている。 ・進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 <p>◇ワークシート、授業観察、振り返り</p>

		明できる。 ◇ワークシート, 定期テスト		
7 9 10 11	<ul style="list-style-type: none"> ・問題の発見と課題の設定 ・製作品の設計 ・製作の計画の立案 ・作業手順を考えた製作 ・問題解決の評価, 改善・修正 	<ul style="list-style-type: none"> ・製作に必要な図の役割やかき方を身に付けている。 ・安全・正確にけがき, 部品加工, 組立て・接合, 仕上げができる。 <p>◇製作品, ワークシート, 定期テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生活の中から材料と加工の技術に関わる問題を見いだして課題を設定できる。 ・材料と加工の見方・考え方を働かせ, 設定した課題を解決するための製作品の構想や設計ができる。 ・設計に基づく合理的な制作方法と工程をまとめることができる。 ・次の工程に向けて, 製作の過程を評価し, 改善及び修正を考慮することができる。 ・完成した製作品が設定した課題を解決できるか, 設計や製作の過程が適切か評価し, 改善及び修正を考慮することができる。 <p>◇製作品, ワークシート, 定期テスト</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって知的財産を創造し, 他者の新しい考え方や捉え方も知的財産として尊重し, またそれらを保護・活用しようとしている。 <p>◇授業観察, 振り返り</p>
12	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術の最適化 ・これからの材料と加工の技術 	<ul style="list-style-type: none"> ・材料と加工の技術が生活や社会に果たす役割や影響を踏まえ, 材料と加工の技術の最適化について説明できる。 <p>◇ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現を目指して, 材料と加工の技術を評価し, 適切な選択, 管理・運用の仕方について提言できる。 <p>◇ワークシート</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・持続可能な社会の実現を目指して, 材料と加工の技術を工夫し, 創造している。 <p>◇授業観察, 振り返り</p>

<p>1 2 3</p>	<p>生活や社会を支える生物育成の技術</p> <p>・生物育成の技術による問題の解決</p> <p>・これからの生物育成の技術</p>	<p>・作物, 動物及び水産生物の成長, 生態などについての科学的な原理・法則を説明できる。</p> <p>・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みを説明できる。</p> <p>・育成計画に沿い, 観察や検査の結果を踏まえ, 安全・適切に育成環境の調整や, 作物の管理・収穫ができる。</p> <p>・これまでの学習を踏まえ, 生物育成の技術の役割や影響, 最適化について説明できる。</p> <p>◇ワークシート, 定期テスト</p>	<p>・生物育成の技術に込められた工夫を読み取り, 生物育成の技術が最適化されてきたことに気付くことができる。</p> <p>・生物育成の技術に関わる問題を見いだして課題を設定できる。</p> <p>・課題の解決策を条件を踏まえて構想し, 育成計画表等に表すことができる。</p> <p>・育成計画に基づき, 合理的な解決作業を決定できる。</p> <p>・よりよい社会の構築を目指して, 生物育成の技術を評価し, 適切な選択, 管理・運用の在り方について提言できる。</p> <p>◇ワークシート, 定期テスト</p>	<p>・進んで生物育成の技術と関わり, 主体的に理解し, 技能を身に付けようとしている。</p> <p>・自分なりの新しい考え方や捉え方によって, 解決策を構想しようとしている。</p> <p>・自らの問題解決とその過程を振り返り, よりよいものとなるよう改善・修正しようとしている。</p> <p>・よりよい社会の構築を目指して, 生物育成の技術を進んで工夫しようとしている。</p> <p>◇ワークシート, 授業観察, 振り返り</p>
----------------------	--	--	--	--